

臨床研究部だより 2024年3月

「プラスアルファの仕事」

沖縄病院職員のみなさま、なにかと忙しい3月ですが本年度の業績報告をよろしく願いいたします。ところで論文執筆や学会発表は何のためにやるのでしょうか？ 日々の業務にはあまり関係なく、仕事が増えるだけ・・・その通りかもしれません。でもなにか良いことがあるから我々はその活動を続けています。記憶より記録に残すこと、自身の業績、NHOポイント・・・などなど。いつかどこかで、誰かの役に立つ社会貢献であるとも考えています。

論文や学会活動以外にも日々の仕事のなかには本来の業務とは直接関係ない「プラスアルファの仕事」がたくさんあります。ではプラスアルファの仕事で得られることは何でしょうか？ お金になることもあれば、そうでないこともあります。求めるものは人それぞれですが、人はどうしても評価や、その対価を求めます。他者からの評価、他者との関係のなかで生きる人間の性（サガ）なのかもしれません。

プラスアルファの仕事で得られるもの・・・それはプライスレス、自身の成長だと私は考えています。いくつになっても人は成長できます。それが年を重ねるということ。一人ひとりの小さな成長がグループの組織の成長につながると考えています。周りの小さなプラスアルファの仕事を探してみませんか。

追伸 繰り返しになりますが業績報告をよろしく願いいたします。

～よりそう探求心～ 臨床研究部 河崎英範